

98.5.

# 4年 東洋医学概論 レポート

漢方薬の服薬指導の注意点について

(提出期限; 12月11日(金))

北里大学薬学部薬学科

94098



## 漢方薬の服薬指導の注意点について

### 1、漢方治療とは

西洋医学は種々の検査の結果、病名を特定し、病名から治療法や処方する薬を決定します。これに対し、漢方医学では病名の特定よりもまず、ひとりひとりの自覚症状、体質、体調、体力、病気の進行具合などを見極めることに重点をおき、これらをトータルにとらえることによってその人にもっともふさわしい治療法を探します。

たとえば皮膚病の場合、西洋医学では検査によってその原因をつきとめ、ペニシリンなどの抗生物質で皮膚病の原因の細菌を退治しますが、漢方医学では「皮膚病にかかりやすくなっている体」の歪みを正すことが治療の一番の目的となります。

これは人間を自然の一部と考える東洋医学の特徴で、体調がすぐれなかつたり病気になったりするのには、その生命活動が自然の法則から逸脱したためだという考えにもとづいています。つまり、病気を治すには体を自然の状態に戻し、「皮膚病にかかりやすい体質」から「皮膚病にかかりにくい体質」に改善させればよいという概念です。

### 2、漢方薬について

1975年にWHO（世界保健機構）が世界各地の伝統医学を新たに再検討することを採択してから、東洋医学もその有効性が科学的に研究されるようになりました。そして日本でも西洋薬一辺倒れの時代を経て、今また漢方医学が見直されはじめています。

これは西洋医学・薬学をもってしても解決できなかった病気や症状に対し、漢方薬がときには西洋薬以上の力を発揮することが証明された結果です。特にアレルギーや慢性の病気、病名のはっきりしない不快な症状、便秘や肩凝りなどの習慣性の症状、虚弱体質や冷え性といった体質的疾患に漢方薬が大変有効なのは、すでに周知の事実です。

漢方薬は生薬なので、なかには入手しにくいものもあり、西洋薬と比較して値段が高いのが一般的です。しかし現在ではおよそ150種類の漢方薬が健康保険の適用を受け、病気の直接の原因に働きかける西洋薬を補う目的で病院でも広く用いられています。

漢方薬の種類は代表的なものだけでも千種近くに上るといわれていますが、そのうち実際に広くもちいられているのはそのうちの100種類程度で、しかも20種類ほどの薬があれば、それらを組み合わせてほとんどの病気が治療できるとされています。

がんや白血病などの難病にもかなりの治療効果や延命効果があることが証明され、現在では多くの病院で西洋医学と東洋医学の長所をうまく取り入れながら治療がおこなわれています。

### 3、漢方薬の不思議

東洋医学は人間の体を部分ではなく、部分が組み合わさった全体としてとらえます。胃痛を治そうとするとき、西洋医学はもっぱら患部である胃だけに注目しますが、東洋医学では胃の不調は器官全体のバランスのどこかが崩れているためにおこると判断し、それをつきとめるために患者の体を総合的に観察します。

そのため、漢方では病名のまったく違ったものでも薬が同じになることがある一方、同じ病気なのに体質や症状、病気の進行具合によって薬がまったく違うということも

あります。葛根湯はかぜ薬であると同時に腰痛やリウマチにも用いられ、同じかぜでも葛根湯より紫胡桂枝湯や香蘇散のほうが効く人がいるわけです。病名というのはあくまでも西洋医学の目でみた分類であって、漢方の分類ではないのです。

#### 4、漢方薬の副作用と服薬指導

天然の生薬を正しく用いていれば、漢方薬には化学薬品にみられるような副作用はほとんどありません。しかし、薬によってはやはり注意しなければいけない点があります。そのため、患者に漢方薬を投与する際、服用中に異常を感じたら必ず医師かまたは薬剤師に相談するよう服薬指導する必要があります。

##### ①甘草の投与

まず、甘草という生薬はたいへん多くの漢方薬に緩和剤として配合されていますが、長期間服用を続けていると低カリウム血症、血圧の上昇、むくみなどが起こることがあります。病院では甘草が配合された薬を連用するときは定期的に血圧や血清カリウム値などの検査をおこなうので、指示された検査は必ず受けるようにしなければいけません。

また、アルドステロン症、ミオパチー、低カリウム血症などのある人は原則として甘草が配合された薬は使用できません。

##### ②高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため、減量して投与するなど配慮する必要があります。

##### ③妊婦・授乳婦への投与

妊娠中の薬剤の服用については原則的に可能な限りさけることが望ましいといえます。一般に安全と思われている漢方薬といえども薬であり、妊婦および妊娠している可能性のある婦人には慎重に投与する必要があります。

##### ④その他

狭心症や心筋梗塞など循環器に障害がある人、高血圧などで塩分の摂取が制限されている人、胃腸が著しく弱い人なども薬によっては使用できないものや慎重に使用しなければならぬものがあるので、常に患者の状態をチェックするとともに、必ず事前に医師か薬剤師に疾患の有無を報告するようにしなければなりません。

#### 5、漢方薬の副作用～最近の「緊急安全性情報」から

薬効分類	医薬品名	副作用の頻度・重篤度	情報・対策
漢方薬	小紫胡湯 紫朴湯 紫苓湯 紫胡桂枝乾姜湯 辛夷清肺湯 清肺湯 大紫胡湯 半夏瀉心湯	間質性肺炎 88 例中 10 例死亡 12 例 39 例 7 例 4 例 5 例 4 例	緊急安全性情報・医薬品等安全性情報 小紫胡湯：「警告」本剤の投与により、間質性肺炎が起こり、早期に適切な処置を行わない場合、死亡等の重篤な転帰に至ることがあるので、患者の状態を十分観察し、発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常（捻髪音）、胸部X線異常などが現れた場合には、直ちに本剤の投与を中止。発熱、咳嗽、呼吸困難等が現れた場合は、本剤の服用を中止し、直ちに連絡するように患者に対し注意を行うこと。
インターフェロン	インターフェロンα	77 例発現中 31 例が小紫胡湯と併用（1994）	警告：本剤投与により間質性肺炎、自殺企図が現れることがあるので、注意の上、患者へ説明すること。 禁忌：小紫胡湯を投与中の患者

以上をふまえ、漢方薬の服薬指導には十分力を入れなければなりません。

参考文献：「漢方治療のレッスン」 花輪先生 著  
「くすりの事典 12000」  
東洋医学概論講義のプリント 等